

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成22年2月12日 (2010.2.12)

【公表番号】特表2009-520761 (P2009-520761A)

【公表日】平成21年5月28日 (2009.5.28)

【年通号数】公開・登録公報2009-021

【出願番号】特願2008-546442 (P2008-546442)

【国際特許分類】

A 6 1 K 39/09 (2006.01)

A 6 1 P 31/04 (2006.01)

A 6 1 P 11/00 (2006.01)

A 6 1 K 39/116 (2006.01)

A 6 1 K 39/39 (2006.01)

A 6 1 P 27/16 (2006.01)

A 6 1 P 29/00 (2006.01)

A 6 1 P 27/14 (2006.01)

A 6 1 K 39/102 (2006.01)

A 6 1 K 47/48 (2006.01)

A 6 1 K 47/42 (2006.01)

A 6 1 K 39/08 (2006.01)

A 6 1 K 39/05 (2006.01)

A 6 1 K 39/10 (2006.01)

A 6 1 K 39/02 (2006.01)

C 1 2 N 15/09 (2006.01)

【 F I 】

A 6 1 K 39/09 Z N A

A 6 1 P 31/04

A 6 1 P 11/00

A 6 1 K 39/116

A 6 1 K 39/39

A 6 1 P 27/16

A 6 1 P 29/00

A 6 1 P 27/14

A 6 1 K 39/102

A 6 1 K 47/48

A 6 1 K 47/42

A 6 1 K 39/08

A 6 1 K 39/05

A 6 1 K 39/10

A 6 1 K 39/02

C 1 2 N 15/00 A

【手続補正書】

【提出日】平成21年12月15日 (2009.12.15)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

**【特許請求の範囲】****【請求項 1】**

異なる血清型に由来する2種以上(例えば、7、8、9、10、11、12、13、14、15種)の荚膜糖類コンジュゲートを含む多価肺炎連鎖球菌ワクチンを含み、血清型22F糖類コンジュゲートを含む、幼児用免疫原性組成物。

**【請求項 2】**

肺炎連鎖球菌荚膜糖類4、6B、9V、14、18C及び23Fのコンジュゲートをさらに含む、請求項 1 に記載の免疫原性組成物。

**【請求項 3】**

2種の異なる担体タンパク質を、少なくとも2種の異なる肺炎連鎖球菌荚膜糖類血清型に別々にコンジュゲートさせる、請求項 1 又は 2 に記載の免疫原性組成物。

**【請求項 4】**

リンカーを介して担体タンパク質にコンジュゲートさせた22F荚膜糖類を含む、請求項 1 ~ 3 のいずれか 1 項に記載の免疫原性組成物。

**【請求項 5】**

リンカーがADHである、請求項 4 に記載の免疫原性組成物。

**【請求項 6】**

リンカーを、好ましくはEDACを用いて、カルボジイミド化合物により担体タンパク質に結合させる、請求項 4 又は 5 に記載の免疫原性組成物。

**【請求項 7】**

22F糖類を、CDAP化合物を用いて担体タンパク質又はリンカーにコンジュゲートさせる、請求項 4 ~ 6 のいずれか 1 項に記載の免疫原性組成物。

**【請求項 8】**

担体タンパク質と22F糖類の比率が5:1~1:5、4:1~1:1又は2:1~1:1(w/w)である22F糖類コンジュゲートを含む、請求項 1 ~ 7 のいずれか 1 項に記載の免疫原性組成物。

**【請求項 9】**

22F糖類の平均サイズ(例えば、 $M_w$ )が100kDaを超える22F糖類コンジュゲートを含む、請求項 1 ~ 8 のいずれか 1 項に記載の免疫原性組成物。

**【請求項 10】**

1種以上の非コンジュゲート化又はコンジュゲート化肺炎連鎖球菌タンパク質をさらに含む、請求項 1 ~ 9 のいずれか 1 項に記載の免疫原性組成物。

**【請求項 11】**

前記1種以上の肺炎連鎖球菌タンパク質が、ポリヒスチジントライアドファミリー(PhTX)、コリン結合タンパク質ファミリー(CbpX)、CbpXトランケート、LytXファミリー、LytXトランケート、CbpXトランケート-LytXトランケートキメラタンパク質、解毒されたニューモリシン(Ply)、PspA、PsaA、Sp128、Sp101、Sp130、Sp125及びSp133から選択される、請求項 10 に記載の免疫原性組成物。

**【請求項 12】**

アジュバントをさらに含む、請求項 1 ~ 11 のいずれか 1 項に記載の免疫原性組成物。

**【請求項 13】**

請求項 1 ~ 12 のいずれか 1 項に記載の免疫原性組成物と、製薬上許容し得る賦形剤とを含むワクチン。

**【請求項 14】**

請求項 1 ~ 12 のいずれか 1 項に記載の免疫原性組成物と、製薬上許容し得る賦形剤とを混合する工程を含む、請求項 13 に記載のワクチンの製造方法。

**【請求項 15】**

肺炎連鎖球菌感染により引き起こされる疾患の治療又は予防のための医薬の製造における、請求項 1 ~ 12 のいずれか 1 項に記載の免疫原性組成物又は請求項 13 に記載のワクチンの使用。